

地方財政の現状と課題

地方の歳出は、国・地方歳出全体の6割強を占めています。

医療、介護、子育て支援などの社会保障の分野における地方の役割は大きく、高齢化に伴い、今後さらに支出増が見込まれており、地方財政に関する知識や意識は、部署や役職を問わず広く自治体職員に求められています。

地域間格差の実態を比較し、説明のつかない格差を是正することで効率化を図る「見える化」や、業務改革による事務事業の見直し、行政サービス水準の他市比較についてなど、先進事例を交え、現状とその課題、課題解決への取組についてご講義いただきます。

日にち

令和6年12月12日(木) 13:25~16:30

※開場12:55 ※途中休憩あり

場所

東京自治会館 本館4階 講堂

zoom

👍 オンライン同時配信あり

講師

一橋大学大学院経済学研究科 教授/研究科長

佐藤 主光(さとう もとひろ) 氏

1969年 秋田県生まれ

1992年 一橋大学経済学部卒業

1998年 カナダ・クイーンズ大学にてPh.D(博士号・経済学)

1999年 一橋大学経済学研究科に着任

2009年より同教授、現在：一橋大学大学院経済学研究科長

専門は税制・財政学。主な著書に「地方税改革の経済学」、
「ポストコロナの政策構想」(共著)、「日本の財政」など。

政府税制調査会特別委員、内閣府規制改革推進会議委員、
財務省財政制度等審議会委員などを歴任。

2019年日本経済学会石川賞、2024年春の紫綬褒章を受章。



講義内容

我が国の地方財政の現状／経済財政一体改革／地方財政の「見える化」
／PFIの現状／人口減少と広域連携／行政改革から業務改革へ

どなたでもご参加いただけます。お申し込みは各団体の研修担当まで

